平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月８日

上 場 会 社 名　　株式会社Ｍｉｓｕｍｉ　　上場取引所　　福
コ ー ド 番 号　　7441　　URL http://kk-misumi.jp/
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　　(氏名)　岡　恒憲
問合せ先責任者　(役職名)　取締役サポート本部長　(氏名)　神野　直也　　(TEL)099-260-2213
四半期報告書提出予定日　　平成25年11月12日　　配当支払開始予定日　　平成25年12月５日
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	30,997	9.8	187	△55.7	302	△51.9	176	△55.6
25年３月期第２四半期	28,229	0.0	422	90.9	628	94.0	397	143.9

(注) 包括利益 26年３月期第２四半期　323百万円(0.1%) 25年３月期第２四半期　323百万円(205.0%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	29.09	―
25年３月期第２四半期	65.55	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	33,536	13,631	40.1
25年３月期	34,234	13,402	38.6

(参考) 自己資本 26年３月期第２四半期　13,449百万円　　25年３月期　13,218百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	15.00	―	15.00	30.00
26年３月期	―	15.00			
26年３月期(予想)			―	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,328	2.8	761	△16.0	895	△28.0	516	△31.7	85.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規　―　社（社名）　　、除外　―　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
②　①以外の会計方針の変更　　：無
③　会計上の見積りの変更　　：無
④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	6,100,503株	25年３月期	6,100,503株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	30,669株	25年３月期	30,669株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	6,069,834株	25年３月期２Ｑ	6,069,834株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……5
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……7
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……8
（継続企業の前提に関する注記） ……8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……8
（セグメント情報等） ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和等により、円安や株価の回復が進み、企業収益の改善や個人消費が上昇傾向にあるなど、緩やかな景気回復の動きが見られました。また、当社グループの営業基盤である南九州の経済は、投資関連や生産活動に持ち直しの動きが見られ、全体として回復傾向にありましたが、電気料金の値上げや円安による輸入品価格の上昇の影響など企業収益の押し下げリスクもあり、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「ＣＨＡＮＧＥ＆ＤＡＳＨ～新しい価値観で、速やかに行動する～」のスローガンのもと、グループ一丸となって、従業員の意識改革を促し、事業部門の整理・再構築による事業全体のレベルアップを図り、販売力や競争力の強化に努めてまいりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は309億97百万円（前年同四半期比9.8％増）となりましたが、仕入価格の上昇等により売上原価が増加したため、経常利益は３億２百万円（前年同四半期比51.9％減）、四半期純利益は１億76百万円（前年同四半期比55.6％減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

１　エネルギー

「エネルギー」セグメントにつきましては、石油部門において、ＥＮＥＯＳカードとＴカードの発券キャンペーンや利用促進を図るとともに、８月に伊敷ＳＳをＤｒ.Ｄｒｉｖｅ伊敷店としてリニューアルオープンするなど、利便性の向上や販売の強化に努めました。

ガス部門においては、販売網の拡大を目的に、肝属郡肝付町内のガスの販売権を一部買取り、４月にミスミガス内之浦店を新設するとともに、新規顧客の開拓や販売の増加に努めました。

以上の結果、売上高は243億71百万円（前年同四半期比11.7％増）、セグメント利益（営業利益）は２億36百万円（前年同四半期比45.6％減）となりました。

２　フード＆ビバレッジ

「フード＆ビバレッジ」セグメントにつきましては、外食部門において、ＫＦＣ店舗のイメージ向上を目的にＫＦＣ川内店を４月に改装するとともに、販促活動等により新規顧客の開拓と来店頻度のアップに努めました。

ミネラルウォーター部門においては、宅配の新規契約の獲得やレンタルサーバーによる販売の強化など、販売数量の確保に努めました。

しかしながら、競争が激化している外食部門の売上不振等により、売上高は26億10百万円（前年同四半期比7.3％減）、セグメント利益（営業利益）は96百万円（前年同四半期比50.1％減）となりました。

３　ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントにつきましては、カルチャー部門において、利便性や運営効率の向上を目的に、５月にメディアミスミＴＳＵＴＡＹＡ南港店でセルフレジを導入するとともに、提案商品の売場拡充や絵本作家のイベントを開催するなど、幅広い世代の集客に努めました。

自動車部門においては、新規車種の販売やタイヤ販売等に注力し、収益確保に努めました。

また、次世代のホームエネルギーの実現に向けて、新エネルギーやリフォーム事業を一層推進し、新しい暮らしを創造するサービスを提供するため、４月にホームライフ部門を新設するとともに、環境に配慮しながら快適な暮らしを実現する家「スマートエコイエ」のモデルハウスを８月にオープンいたしました。

以上の結果、売上高は40億16百万円（前年同四半期比11.6％増）、セグメント利益（営業利益）は１億58百万円（前年同四半期比29.0％増）となりました。

（上記金額には、消費税等は含まれておりません。）

（２）財政状態に関する説明

（財政状態）

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて６億98百万円減少し、335億36百万円となりました。これは主に、現金及び預金や投資有価証券が増加した一方、受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて９億27百万円減少し、199億４百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加した一方、短期借入金や未払金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて２億28百万円増加し、136億31百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、固定資産の取得４億43百万円、仕入債務の減少２億30百万円及び法人税等の支払い２億25百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少12億71百万円、減価償却費３億29百万円及び税金等調整前四半期純利益３億４百万円等の資金の増加により、前連結会計年度末に比べ３億80百万円増加し、当第２四半期連結累計期間末は32億33百万円（前年同四半期末比16.3％減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加額は、９億80百万円（前年同四半期比33.3％減）となりました。これは主に、仕入債務の減少２億30百万円及び法人税等の支払い２億25百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少12億71百万円、減価償却費３億29百万円及び税金等調整前四半期純利益３億４百万円等の資金の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少額は、４億32百万円となりました。これは主に、固定資産の取得４億43百万円等の資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少額は、１億66百万円（前年同四半期比90.0％減）となりました。これは主に、配当金の支払い91百万円及び借入金の返済63百万円等の資金の減少によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、平成25年５月10日発表から変更ありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,550,956	3,932,177
受取手形及び売掛金	6,271,070	4,999,690
有価証券	3,719	959
商品及び製品	2,690,881	2,715,705
仕掛品	69,396	82,015
原材料及び貯蔵品	36,326	38,536
その他	666,957	716,479
貸倒引当金	△348,905	△366,486
流動資産合計	12,940,403	12,119,078
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,202,992	4,131,471
土地	12,368,271	12,371,367
その他（純額）	915,421	955,168
有形固定資産合計	17,486,685	17,458,007
無形固定資産	328,367	342,890
投資その他の資産		
その他	3,587,172	3,729,814
貸倒引当金	△107,950	△113,593
投資その他の資産合計	3,479,222	3,616,221
固定資産合計	21,294,275	21,417,119
資産合計	34,234,678	33,536,198
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,080,464	1,849,537
短期借入金	7,695,000	7,445,000
1年内返済予定の長期借入金	1,704,714	1,716,298
未払法人税等	239,464	121,407
賞与引当金	307,370	303,700
その他	1,778,728	1,282,242
流動負債合計	13,805,741	12,718,185
固定負債		
長期借入金	5,223,345	5,398,420
退職給付引当金	150,986	120,003
役員退職慰労引当金	742,900	749,500
その他	909,316	918,758
固定負債合計	7,026,548	7,186,682
負債合計	20,832,289	19,904,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,341	1,646,341
利益剰余金	9,650,022	9,735,530
自己株式	△43,403	△43,403
株主資本合計	12,943,860	13,029,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	274,402	419,637
その他の包括利益累計額合計	274,402	419,637
少数株主持分	184,126	182,324
純資産合計	13,402,388	13,631,330
負債純資産合計	34,234,678	33,536,198

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	28,229,324	30,997,591
売上原価	22,341,948	25,442,304
売上総利益	5,887,375	5,555,287
販売費及び一般管理費	5,465,297	5,368,130
営業利益	422,077	187,157
営業外収益		
受取利息	9,067	2,349
受取配当金	25,452	20,611
受取賃貸料	75,150	73,440
貸倒引当金戻入額	106,797	－
その他	115,288	136,970
営業外収益合計	331,756	233,372
営業外費用		
支払利息	83,679	70,531
賃貸費用	33,262	28,971
その他	8,199	18,720
営業外費用合計	125,141	118,224
経常利益	628,692	302,305
特別利益		
固定資産売却益	1,045	2,358
特別利益合計	1,045	2,358
税金等調整前四半期純利益	629,737	304,664
法人税、住民税及び事業税	215,312	108,280
法人税等調整額	8,616	18,022
法人税等合計	223,929	126,302
少数株主損益調整前四半期純利益	405,807	178,362
少数株主利益	7,909	1,807
四半期純利益	397,898	176,555

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	405,807	178,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82,456	145,235
その他の包括利益合計	△82,456	145,235
四半期包括利益	323,351	323,597
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	315,442	321,790
少数株主に係る四半期包括利益	7,909	1,807

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	629,737	304,664
減価償却費	351,883	329,816
固定資産除却損	3,066	9,175
のれん償却額	42,588	42,591
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△117,664	23,222
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,114	△3,670
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△878	△30,983
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4,900	6,600
受取利息及び受取配当金	△34,520	△22,961
支払利息	83,679	70,531
為替差損益（△は益）	△878	△0
固定資産売却損益（△は益）	△1,045	△2,358
受取保険金	△395	△436
売上債権の増減額（△は増加）	902,585	1,271,607
たな卸資産の増減額（△は増加）	239,301	△39,652
仕入債務の増減額（△は減少）	△288,831	△230,927
その他	55,323	△468,050
小計	1,869,964	1,259,169
利息及び配当金の受取額	32,770	21,404
利息の支払額	△81,491	△75,651
保険金の受取額	395	436
法人税等の支払額	△351,705	△225,132
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,469,934	980,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16,310	△10,773
定期預金の払戻による収入	170,706	10,170
有価証券の取得による支出	△2,759	―
有価証券の償還による収入	2,758	2,759
固定資産の取得による支出	△808,687	△443,569
固定資産の売却による収入	3,490	5,600
投資有価証券の取得による支出	△18,108	△13,514
投資有価証券の売却による収入	1,000	―
子会社株式の取得による支出	―	△270
差入保証金の差入による支出	△2,180	△15,282
差入保証金の回収による収入	34,917	23,952
貸付けによる支出	△740	―
貸付金の回収による収入	1,710,044	12,070
その他	△4,879	△3,982
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,069,254	△432,838
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△2,135,000	△750,000
リース債務の返済による支出	△10,390	△8,962
長期借入れによる収入	1,100,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,024,591	△1,013,341
配当金の支払額	△91,266	△91,221
少数株主への配当金の支払額	△3,245	△3,245
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,664,493	△166,769
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	874,695	380,617
現金及び現金同等物の期首残高	2,991,186	2,853,198
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,865,882	3,233,815

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	エネルギー	フード&ビバレッジ	ライフスタイル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,814,106	2,815,958	3,599,259	28,229,324	―	28,229,324
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,736	13,229	101,838	142,804	△142,804	―
計	21,841,843	2,829,187	3,701,097	28,372,128	△142,804	28,229,324
セグメント利益	434,989	193,357	122,580	750,926	△328,848	422,077

（注）１　セグメント利益の調整額△328,848千円には、セグメント間取引消去5,102千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△333,950千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	エネルギー	フード&ビバレッジ	ライフスタイル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,371,011	2,610,519	4,016,060	30,997,591	―	30,997,591
セグメント間の内部売上高又は振替高	54,425	15,849	62,290	132,566	△132,566	―
計	24,425,436	2,626,369	4,078,351	31,130,158	△132,566	30,997,591
セグメント利益	236,683	96,441	158,068	491,192	△304,035	187,157

（注）１．セグメント利益の調整額△304,035千円には、セグメント間取引消去5,500千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△309,536千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。